3804フレックステックスVT

可変テクスチャー塗料

フレックステックスVT は、自動車用テクスチャ加工をシミュレートする為に開発された可変テクスチャ ー塗料になります。 ほとんどの仕上げのトップコートまたはアンダーコートに使用することが出来、ベース/クリアまたはシングルステージの塗装システムで上塗りすることが可能です。
フレックステックスVT は耐久性に優れており、黒色のテクスチャーが必要な上げコートとして使用できます。

メリット:

OEM テクスチャをシミュレート
希釈率とスプレー技術によりテクスチャのサイズを調整する
すべてのトップコートシステムに対応
ブラックテクスチャーが必要な場合は、トップコートは必要ありません。

アプリケーション:

最良の結果を得るには、320 グリットでサンディングしたプライマーサーフェーサーの上にフレックステックスVTを塗装します。

テクスチャを構築するには、3 ～ 5 回の軽めの「スプラッター*」コートを適用し、コート間のフラッシュ タイムを確保します。塗装ガンをすばやく動かし、塗料が流れ出ないようにします。 ライト コートの場合は、ガンの吐出量を減らします。 上塗りの前に、ライトコートの場合は30 分間、厚塗りの場合は 2 ～ 3 時間乾燥させてください。 Flextex VTの適用の詳細については、本紙裏面を参照してください。

*ランダムに塗料の液滴を置くことを意味します。

フレックステックス VT は、ラッカーと互換性のあるトップコート システムで上塗りすることができ
ます。水性塗料にも使用できます。
使用後すぐにスプレーガンをラッカーシンナーで洗浄してください。

テクスチャリング リファレンス：テスト パネルを使用して、希望するテクスチャを決定します。レデューサーの量を制限し、ノズルを大きくし、ガンのエアー圧を低くすると、最も粗いテクスチャが生成できます。より細かいテクスチャの場合は、適切なフレックステックス VT レリューザーの配合を多くします。

テクスチャー粗目: 1.8 mm のスプレーガンを 0.06-0.1Mpaで使用してフレックステックスVTを 8：1（塗料：レリューザー）で混合します。
テクスチャー中目: 1.4 mm のスプレーガンを 0.06-0.1Mpaで使用してフレックステックス VTを 3：1（塗料：レリューザー）で混合します。
テクスチャー細目: 1.4 mm のスプレーガンを 0.06-0.1Mpaで使用してフレックステックスVTを 1：1（塗料：レリューザー）で混合します。

実サイズテクスチャー

製品仕様書

品番	積込み重量	寸法
3804-1 フレックステックス VT	3.77 kg	直径16.5㎝×高さ19㎝
3804-4 フレックステックス VT	1.09 kg	直径10.8㎝×高さ12.7㎝
※3804N-4 スタンダードレリューザー	1.00 kg	縦5.8cm×横11cm ×高さ19cm
3804R-4 0 VOC レリューザー	1.09 kg	縦5.8cm×横11cm ×高さ19cm
※3804K スタンダードキット	2.50 kg	縦12.7cm x横 19.05cm ×高さ20.955cm
3804KZ Low VOC キット	2.50 kg	縦12.7cm x横 19.05cm ×高さ20.955cm

※3804N-4、3804Kは、本国バックフォロー製品になります。

3804-1, 3804-4 VOC: 328 g/L

3804R-4 VOC: 0 g/L

3804N-4 VOC: 755 g/L

性質テスト:

引火点	> 44°C)
密度	> 8.2 lb/U.S. gal

追加の安全情報については、SDSおよび製品ラベルを参照してください。

Polyvance
ADVANCING POLYMER REPAIR

お問合せは、下記販売代理店まで

Polyvance authorized international master distributor
ポリバンス　日本総代理店
有限会社ティークラフトプラスチックリペア事業部
TEL:0564-28-5319 FAX:0564-28-5399
E-mail:info@jyusiripea.com URL:https://jyusiripea.com

t-craft plastic repair division

標準作業手順書: 3804 Flextex VT テクスチャー塗装

Use proper protective equipment while working around chemicals.

1. 下地処理剤等で、パーツを綺麗にし、濯いで乾かしてください。
1001-4エコプレップ又は1000-1スーパープレッププラスチッククリーナーをたっぷりと塗り、油分、汚れ等を拭き取り塗面を綺麗にします。
拭き取り時、繊維がつかないタオルで、乾拭きしてください。

2. OEMのテクスチャーと試し吹きしたテクスチャーリファレンスカード比較し、適切なFlextex VT削減比率とガンの設定を特定します。
テクスチャーはスプレーガンとガンの設定によって異なります。
独自のカスタマイズされたテクスチャーリファレンスカードを作成することをお勧めします。

テクスチャーリファレンスカードデーターがない場合は、以下の表に従って3804 Low VOC Flextex VTと3804 Reducerを体積比で混ぜます。
望むテクスチャーに基づいて適切な混合比率を選択してください。
例えば、よりシボ目の粗いテクスチャーを作りたい場合は、FlextexVTとReducerの比率を高くすることができます。成分をしっかりと混ぜ合わせ、必要に応じて調整して望む濃度の状態になるようにしてください。

Volume Mixing Ratios (fl. oz.)

	200ml		500ml)		1000ml	
Texture Appearance & Reduction Ratio	3804	3804 Reducer*	3804	3804 Reducer*	3804	3804 Reducer*
粗目 8:1	177.8ml	22.2ml	444.4ml	55.6ml	888.9ml	111.1ml
中目 3:1	150ml	50ml	375ml	125ml	750ml	250ml
細目 1:1	100ml	100ml	250ml	250ml	500ml	500ml

3. 修理箇所をペーパー♯180で研磨し、修理箇所から徐々にフェザーバックさせます。もし希望があれば、仕上げ時により均一な外観を得るために、テクスチャー全体を研磨することもできます。その後、ペーパー♯ 320で軽く全体のテクスチャー部分を研磨します。テクスチャーを完全に滑らかに研磨しようとするのではなく、テクスチャーの表面を平らにすることを目指します。埃を吹き飛ばしてください。

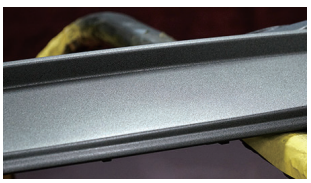
4. スカッフパッド♯320でテクスチャー全体を軽く足付けします。
埃を吹き飛ばしてください。
5. プライマー施行箇所に1051 Low Voc プラスチックマジック（または1050 プラスチックマジック）の接着促進剤を、1～2回のセミウエットコートでスプレーします。プラスチックマジックを 10～15分間乾燥させます。

6. 3043 オールシーズンズブラックジャック水性プライマーサーフェーサー（または希望するプライマーサーフェーサー）を塗装します。修理箇所から元のテクスチャーに向かってブレンドしながら、セミウエットコートで、2回塗り重ねをします。各コートの間には、適度な乾燥時間を設けてください。

7. プライマーサフェーサー乾燥後、320グリッドのペーパーで研磨します。不完全な箇所をスポットパテ等で埋めます。必要に応じて、残っているTPOの繊維状のふわふわ感や80番のキズをなくすために、320番で研磨し、再度プライマーサフェーサーを塗装します。
スカッフパッド♯320でプライマーをこするように軽く足付けします。元のテクスチャーにフェザーバックさせます。埃を吹き飛ばし、タッククロスでふき取ります。
再テクスチャリングする全体の箇所に1050または1051プラスチックマジックを塗布しますが、プライマーサフェーサーには、プラスチックマジックを塗布する必要はありません。

8. スプレーガンに、ステップ2で決定したテクスチャーに合わせて調合したFlextexVTを充填します。ガンのノズルサイズ、ニードルの設定、およびエアー圧は、粒子サイズを微調整するために調整する必要があります。テクスチャーをパーツに塗装する前に、ガンの設定をサンプルカードで調整してください。

9. プライマーサフェーサーを塗装した箇所にのみ、FlextexVTを2～3回塗装して再テクスチャリングを開始します。各コートで、プライマーサフェーサー部分から向かって広げながら塗り重ねてください。表面には塗装時の液滴をまだら模様で塗布することと、液滴が一緒になるのを防ぐことが非常に重要です。Flextexを適用する際の一般的な不具合は、過剰なウエットコートにより塗装を流し出すことです。

もし光沢のある箇所や不均等な箇所がある場合は、ペイントが完全に乾燥させ、スカッフパッド♯320で部品全体を軽く足付けします。埃を吹き飛ばし、タッククロスでふき取った後、テクスチャーの外観を均等にするために部品全体にさらにFlextex VTを塗布してください。

10. サテンブラックの外観を望まれる場合は、Flex VTそのままをトップコートせずに使用することができます。異なる色が必要な場合は、FlextexVTが完全に乾燥した後、赤いスカッフパッドで軽くスカッフし、タッククロスでふき取り、その後、ベース/マットクリアコートまたは硬化ベースコートでトップコートを行ってください。